

FM ラジオの東日本大震災報道
～音楽の力、言葉の力～

報道各位

FM ラジオがすべきこと、FM ラジオにしかできないこと
TOKYO FM の東日本大震災報道

TOKYO FM は、3月11日(金)の東日本大震災発生直後より1週間にわたり(～3月17日)、CM無し、全て生放送の特別編成で番組を放送いたしました。その後も、リスナーに的確な災害情報、生活情報を日々届け、メディアとしての公共的な役割を果たしながら、「ヒューマンコンシャス～生命を愛し、つながる心」の理念をベースに、「音楽の力」「言葉の力」で被災地のリスナーと全国のリスナーを結び付け、支援、励まし、応援メッセージを送り続けています。

以下は、TOKYO FM が地震発生直後から行なってきた主な報道内容と活動です。

1. 全国ネットワーク(JFN)を活用し、いち早く被災地にメッセージと音楽を。

震災発生後、被災地所在系列局 (FM 仙台、FM 岩手、FM 福島他) を含めた JFN (Japan FM Network) 各局が TOKYO FM 制作特別番組のネット放送を開始したため、内容を被災地のリスナー向けにシフト。全国のリスナーから被災地へ、メッセージと音楽を届ける番組を放送し続けました。逆に被災した各局からも、1時間に1回の頻度で入り中継を実施し、各局アナウンサーが現地状況を伝えました。

2. FM ラジオの使命は「心のケア」。音楽と言葉で「人に優しい報道」を。

テレビで悲惨な被害映像や被災者へのインタビューが繰り返される中、TOKYO FM ではリスナーたちの「心のケア」を主軸に、お子さんから年配の方々まで、幅広い年代への励ましとなるような音楽を、全国からのリクエストに基づいて流し続けました。通常 FM ラジオでは殆ど流れない子供向け番組のテーマソング (アンパンマン、仮面ライダー、プリキュアシリーズなど) や、演歌・歌謡曲 (美空ひばり「川の流れるように」、水前寺清子「365 歩のマーチ」、坂本九「上を向いて歩こう」) などもオンエア。更に、童話の「よみきかせ」も放送いたしました。こうした心のケアに重点を置いた「人に優しい」放送により、被災された方々のみならず、テレビ報道で心が疲れた方々からも、「勇気づけられた」「安心感を得た」「子どもに悲惨な映像を見せたくないでラジオを聴いている」など、多くの反響をいただきました。

3. ツイッターやメールなど、ネットの活用、ネットとの連動。

平常時から開設している Twitter 公式アカウント (@tokyofm) のほか、11日15時より朝のワイド番組「クロノス」公式 facebook ページで情報収集を開始。12日未明には共通メールアドレス (hodo@tfm.co.jp) を開設して、FAX と共に情報提供を受け付け、放送1週間で約3万通のメール (=通常時の4～5倍のメール数) が寄せられました。また、中高生向けの番組「SCHOOL OF LOCK!」ホームページの掲示板への投稿も、地震当日は平常時の4倍以上の2万件超となりました。

ラジオとは親和性が高いと言われてきたインターネットの利点を最大限に利用し、被災地からの声や情報、そして被災地への声や情報を、リアルタイムで集めて放送しています。

4. アーティスト、ミュージシャン、パーソナリティから続々と寄せられたメッセージと音楽。

番組のレギュラー・パーソナリティを務めるアーティストたちや、度々ゲスト出演しているア

アーティストたちが、震災直後から続々と寄せてきたメッセージ「HOPE MAIL」を、いち早く番組で紹介すると共に、インターネット上で公開 (<http://www.tfm.co.jp/lock/hope/>)。更に、アーティスト自らが語りかけたり、スタジオライブを実施するなどして（渡邊貞夫、ドリカム、上原ひろみ、中村あゆみ、フライングキッズなど）、言葉と音楽の力で被災された方々へのメッセージを発信しました。

また、福島出身のミュージシャン、クリエイターが急遽集合し結成した「猪苗代湖ズ」による福島復興を祈るオリジナルソングを、TOKYO FM 携帯サイトから限定配信。ダウンロード収益はすべて、福島災害対策本部へ寄付いたします。

5. 官邸からの情報と生活情報の発信。

3月28日よりJFN全国38局で、被災地の皆さんの生活再建に必要な大切な情報と、それを支援する全国の皆さんへの思いを、官邸から枝野官房長官が直接お届けする番組「震災情報 官邸発」の放送を開始いたしました。（Podcastでも当日の22時に配信）

また、東京ローカルの時間帯には、交通、帰宅困難者受け入れ施設、計画停電、ボランティア、水や食料など、生活と今後の再建に関わる情報を取材し、きめ細かくお伝えしています。

6. その他

「ヒューマンコンシャス募金（日本赤十字社を通じた義捐金募集）」の呼びかけ、被災地へのラジオ1,700台寄付、被災したFM局への物資支援、FM岩手・釜石サテライト局への技術協力、被災地のコミュニティーFMとの連携による中継など、様々な支援企画を実施中。

以上に加え、TOKYO FMでは今後も様々な施策を実施予定です。